



民主 苫小牧号外
2026年
10.25
No.1162

日本共産党市議会議員

小野寺ゆきえです!



私は、手数料・使用料の値上げに反対です

今週号の『民主苫小牧』では、苫小牧市の使用料・手数料の見直し（値上げ）について、総務委員会での質問内容を掲載しています。値上げは20年振り。9月議会で初めて提案があり、次の定例市議会である12月議会で条例提案をして決定しようという乱暴なやり方です。ぜひ、『民主苫小牧』を読んでいただければと思います。

私は、①物価高騰で苦しむ市民への更なる負担増はすべきではないこと。②市民に負担を強いることでありながら、議論する時間、市民理解を得る時間が少なすぎる。③“公共サービス”でありながら「受益者負担」を強調していること。主にこの3点で反対です。

しかし、総務委員会で反対したのは私だけでした。他会派からは、20年間値上げをしてこなかったことに対し

「20年間も値上げしなかったことが問題。議会としても触れなかったことが問題」という指摘がありました。これまで市は、内部努力で頑張ってきたから、20年間値上げをせずに済んできたのです。ここの評価が大切です。

また、今はスポーツ施設では、70歳以上の方や障がい者は無料で使用できますが、これに対しても、「高齢者が無料なのは公平ではない。受益者負担の考え方から矛盾する」と、無料化をやめるよう迫る発言もありました。しかし、苫小牧市は『スポーツ都市宣言』のまち、スポーツを楽しむことを推奨するために、無料だったスポーツ施設の使用料を有料にする時も、他市よりも安価に抑え、高齢者や障がい者がスポーツに気楽に楽しめるようにと、政策的判断で無料にしてきました。そして、そのことが健康寿命を延ばす効果にもなっています。

さらに、アルテンのゆのみの湯の料金は大幅上昇します。今、大人は600円ですが、値上げ後は1000円です。基本の値上げ率は10%と説明しているので、660円のはず。なのに1000円とは高すぎます。これにも、他会派から問題視する意見がありました。

その他にも、私と同様に「議論する時間が少ない」と指摘する意見はありましたが、だれも値上げに反対する議員はいませんでした。そして市も、12月議会で決定して、来年4月から値上げという方針を崩しません。

ぜひ、みなさんのご意見をお聞かせください。その声を持って、12月議会で頑張りたいと思います。